



2012

12

No.485



## 理念

130年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

## 基本方針

### 患者中心医療

患者の人権と  
意思を尊重します

### 患者診療3本柱

がん・救急・  
予防医療を中心に  
医療機能の  
充実を図ります

### 完結型医療

地域の医療機関  
との連携を行い  
安心できる医療の  
展開を行います

### 社会貢献

災害医療派遣・  
医療情報公開・  
医療ボランティアの  
活動を行います

### 医療人育成

医療に携わる  
喜びが持てる  
医療人の育成を  
行います

## 平成24年度 九州・沖縄ブロックDMAT実動訓練



平成24年11月17・18日に平成24年度九州・沖縄ブロックDMAT実動訓練が開催されました。今回は、熊本県が主催し、九州・沖縄ブロックのDMAT隊員の技術の向上、連携等を図ることを目的とした訓練で、当院から下川副院長をはじめ、6名の隊員が参加し、九州・沖縄のDMAT隊員と共に実動訓練を行ってまいりました。

1日目は、熊本県八代地域で震度6強の地震発生という想定の下に宮崎県防災消防ヘリが人吉を経由し、総合病院DMATを歴史の広場にてピックアップし八代河川敷まで飛ぶ予定でしたが、あいにく同時時間帯に救急要請がかかり、当日ヘリ搭乗訓練はできませんでした。その後、熊本赤十字病院において九州・沖縄のDMAT隊と座学を中心とした机上訓練を行いました。2日目は、八代市の球磨川河川敷公園にて、現場活動、病院支援、SCU設置、活動拠点本部活動等の実動訓

練が行われ、多方面より拡声器が鳴り響く中、当院DMATは現場を離れ、八代地域の災害拠点病院である熊本労災病院で緊張感を持ちながら今回初めて病院支援に臨みました。病院の構造上の違いやスタッフとのコミュニケーションなど種々の課題点が浮かび上がる結果となりましたが、熊本労災病院とは熊本県南の災害拠点病院として協力体制など次につながる問題の共有も出来たと思います。

当地域で大規模災害が起こった場合は、当院にDMAT参集センターが立ち上がることになります。今後も災害体制の強化を図って参ります。皆様のご支援のもとDMATでの活動をさせて頂いておりますが、今後ともよろしくお願い致します。

人吉総合病院 DMAT 看護師 椎葉 由美

## 第3回心血管疾患地域医療連携 カンファレンス開催

11月21日（水）19：05～21：00人吉市東西コミュニティセンターにて第3回心血管疾患地域医療連携カンファレンスを開催し、医療福祉関係者約40名が出席しました。

年2回行っているこの会も3回目を迎え、現在までのパス運用状況に加え、今回は当病院循環器科名幸久仁先生より「タ



バコーすべての医療者が連携して取り組むべき課題ー」と題して喫煙や受動喫煙によりいかに身体に害があるか、なぜ無くならないのかなどの背景とともに、知識をもっている医療関係者が積極的に禁煙を促していかなければならないという内容でお話しいただきました。患者様や地域へ向けて啓発活動をされていらっしゃる先生方からの賛同の声や質問もいただき、熱のこもったものとなりました。また、最後の演題では、岡医院院長 岡啓嗣郎先生と当病院循環器科部長 岡秀樹先生より「糖尿病・CKDを合併した心筋梗塞症例」と題してパスを利用した患者様の経過についてお話しいただき、慢性疾患を抱える患者様の指導の難しさ（受入れは良いが、継続ができない等）を痛感しました。

今後このような生活習慣に関する勉強会、患者様への指導の方法等の情報交換を行い、わたしのカルテが適切な情報共有ツールとして患者様にとって役に立つよう改訂していけたらと思います。活発な質疑応答、ご意見ありがとうございます。今後ともよろしくお願ひ致します。

医療福祉連携室 金栗 由佳

## 第14回健康保険人吉総合病院研究発表会

12月15日（土）人吉カルチャーパレス小ホールに於いて第14回健康保険人吉総合病院研究発表会が開催され、総勢141名の参加がありました。

各職種から10題の研究発表及び1題の研修報告がなされ、そのいずれにも各々の職務における課題や問題点を乗り越え、より良い医療を提供しようという前向きな姿勢が感じられました。これら種々の取組みは医療の質の向上に寄与するとともに当院の医療をより良い方向へ導くものと考えます。さらに菊地純子先生より「ヨーガによる統合的な健康実現を目指して」と題して倫理特別講演を賜りました。ヨーガの実演を交えながらその効果についてお話ししていただき、いくつかのヨーガ体験もありました。ヨーガ療法は緩和医療や認知症ケアに対しても有用であるように感じました。

今回発表  
があった演  
題の内、3  
階看護師  
吉田菜都望



さんの「人工膝関節全置換術後におけるコールドバック固定法の工夫～サポーターの作成を試みて～」、私の「院内における副作用発生状況と新しい病棟業務体制による安全な薬物療法の支援」の2題を優秀賞として選んでいただき、研究発表会後の忘年会にて目録を頂きました。今後も様々な知見を取り入れ、地域医療に貢献していきたいと思ひます。

薬剤師 上野 直哉

## 南九州初 外来患者診察誘導システム

患者様の外来診察、検査への円滑な誘導と、患者様が待ち時間を有効に活用いただくことを目的といたしまして、『外来患者様 診察誘導システム』を導入いたします。（平成25年3月～運用予定）

病院内の静肅性・安全性を高め、患者様が安心・リラックスして診察を受けていただけるよう『待ち時間の質の向上』に努めてまいります。

### システムの特徴

- ・患者様を口頭でご案内するのではなく、呼出カードに表示されるメッセージ、メロディーで誘導するというシステムです。
- ・院内どこにいてもOK。院内で自由にお過ごしいただけます。
- ・お名前をお呼びしませんので患者様のプライバシー保護が期待できます。



呼出カードとは案内表示・振動・メロディー・音で診察順番が近づいたことをお知らせする呼出受信機です。

メッセージ案内画面：診察室への案内などが文字で案内されます。確認ボタン：緑色に点滅し振動・メロディーが鳴りましたらこのボタンを押して文字メッセージを確認してください。

※ 植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている方は、本機器をペースメーカ装着部から22cm以上離して携行および使用して下さい。電波によりペースメーカの作動に影響を与える可能性があります。

医事課 日當 幸治

### 呼出カード ご利用の流れ

1. 来院されましたら再来受付機又は外来受付で呼出カードを患者様全員にお渡しいたします。診察券又は紹介状のご提示を御願ひいたします。
2. 呼出カードを受け取りましたら、病院敷地内であればどちらでお待ちいただいても結構です。電波の届かないところに行くと圏外表示マークが点滅し、ピーピー音がなりますので待合フロアにお戻り下さい。
3. 診察が近づきましたら呼出カードに診察が近づいたことをお知らせするメッセージが表示されます。表示された診察室、検査室付近でお待ちください。
4. 再度、診察室に入ってくださいようメッセージが表示されます。患者様は表示された診察室にお入りください。
5. 診察および検査が終了しましたら、会計にお越しください。会計が終了しましたら、呼出カードに会計が出来たことをお知らせするメッセージが表示されます。
6. 精算終了後、呼出カードをご返却ください。

# 病院建替え工事 進捗レポート

No. 9  
情報企画課



1階エントランスホール  
イメージ図



2階待合  
イメージ図

来年(2013年)4月末までに本館が完成し、検査・引渡しを受けて5月連休に引越しを予定しています。現在、フロア毎に外壁成形板建てこみ、耐火被覆吹付け、間仕切り、建具取付け等が進んでいます。工事は通常18時までとなっておりますが、完成に向かい超過する日も予想されます。外装および内装に伴う騒音等ご迷惑をお掛けしますが、引き続き皆様のご理解・ご協力をよろしくお願い致します。



(11/16)

(11/29)



(12/6)

## 食事で病気を防ごう

11月28日(水)五木中学校にて小学5・6年生と中学生の38人、職員12人を対象に、病院栄養士から見た“食に関する学習における講話”を行いました。内容は、最初に現在増えている病気や日本人の死因を話しました。食生活と関連する原因の1つに生活習慣病があります。この生活習慣病は、最近では低年齢化が進み20歳代の若者や10歳代の子供達にも蔓延しているのが現状です。その背景には、食生活の乱れや運動不足、不規則な食事が原因とされています。小さい時の食習慣が大人になってから現れるため、今のうちに正しい食習慣を身に付ける事が重要だと強調しました。食事は、一汁三菜を食べて来た日本食はバランスが良く食物繊維が豊富なため、最低病気を予防してくれるという事。また、豆腐や大豆製品は今増えている癌や動脈硬化、肥満を予防するため、



みそ汁や納豆等毎日食べようと話しました。食生活以外には健康習慣としての運動の大切さも伝えました。最後に、小学生からは「運動で高血圧が治せるのか。」「10歳代で糖尿病になるのか。」、中学生からは「日本食は塩分が多くカルシウムが少ないのにどうして世界から注目されているのか。」という質問がありました。今回の講話で、小・中学生のうちから食生活と病気の繋がりを学ぶことは必要だと感じました。また、機会があれば児童や生徒を対象とし、専門性を活かした栄養指導をしていきたいと思えます。

栄養課長 大岩 洋子

## ビーチバレーボール大会に参加して

11月22日(木) 今年も恒例の人吉総合病院ビーチボール大会が開催されましたが、見事ICUのIチームが優勝しましたので、その時の事を書かせて頂きます。

今年はICUからはI(愛)とC(CUTE)の2チームが出場です。その中でもIチームは坂本さん、財部さん、平野さん、上村さん、私の5人で、バレー部を含む主力(私以外)の集まりで特に期待がかかっていました。球技が苦手な私がこのチームに入っていると聞いた時は苦笑いでしたが、とにかく足を引っ張らぬよう早速練習を開始しました。

短い練習期間の中ではメンバーの予定も合わず全員が揃っての練習は出来ずに当日を迎えることになりましたが、坂本さん達に考えて頂いた配置や戦術のおかげもあ

り予選は2試合とも勝利し決勝トーナメントに進むことが出来ました。トーナメントでは最初の準々決勝で松下先生チーム、続く準決勝は荻先生チーム、そして決勝はOPE室チームとの対戦となったのですが、これはもう実質決勝戦を3回したようなものでした。全ての試合が序盤はリードされるものの、応援に後押しされるように徐々に巻き返し最後は逆転勝ち、強豪を破っての優勝ということもあり喜びも相当なものでした。

多くの強豪を倒し優勝することができたのはチームが一丸となれた事、そして応援してくれた皆さんに力をもらった結果だと思えます。

来年もアサヒスーパードライを貰うのはICUです。ありがとうございました。

ICU 臨床工学技士 宮原 俊介



## 第2回健康保険人吉総合病院 中間基幹職員懇話会開催



平成24年12月11日(火) 老神町の開(kai)において標記懇話会を開催しました。かねてより組織の中で重要な役割を持つといわれています当院の中間基幹職が一同に会し組織力の強化を図ることを目的としています。

まず今回は、作元功事務局長より病院経営状況(月次決算、決算推移、手術室実績、医業費用と収益比率ほか)や病院新棟建替(事業費、建設進捗状況、見通し、導入予定機器)についてスライドを用いた説明を受け、次に当地以外の病院において永年勤務の経験をお持ちの福島ゆかり薬剤部部長に、当院に勤務してみて当院の立ち位置をどのように感じているのかのコメントを含めた開宴のあいさつをいただきました。前回はグループディスカッション、今回は飲みニケーションの場をセッティング、今回の出席数は45名(前回46名)、開催後のアンケートでは組織つくりのために役に立つ+や役に立つ98%(前回91%)、次回開催するにあたり望むことについての回答は、今後の組織としての方向性や具体案に向かってディスカッションをしたい、事前に当院の課題についてテーマを絞り込み各部署からの発表や意見交換を行い具体的な行動変様につなげる、自部署のみでなく病院全体を視野に入れる重要性を改めて感じた、中には、医師出席の必要性など、非常に熱い意見が多く底力を感じた懇話会でした。今後も変化しながら懇話会を開催していきます。どうぞよろしく願います。

庶務課長 西山 三智

## バザ一収益 寄付



平成24年10月28日に開催いたしました病院フェスティバル内でサイクルバザーを行い、そこで得た収益を12月4日(火)に人吉市社会福祉協議会、当院の緩和病棟、2階病棟、小児外来へそれぞれ寄附させていただきました。地域福祉の為、また、クリスマス会や絵本購入などに使われるそうです。

また、同時に集めたペットボトルキャップは、6020個で約7.5人分のワクチンになりました。尚、ペットボトルキャップはワクチンだけでなく、宮城・岩手・福島・茨城への義援金としても活用されています。

これからも、ご協力お願いいたします。ありがとうございました。

エイド部 政岡 絹枝



## 性教育講和

## 「生と性」一人吉高校 定時制

11月21日 熊本県立人吉高等学校定時制生徒32名を対象に、当院産婦人科大竹秀幸部長による性教育講演会を行いました。生徒さんより感想を頂きましたので一部ご紹介させていただきます。

- ・性病について耳にしたことはあったけど、良く意味がわからない事があったのでとても勉強になりました。男性との良い関係が築ければいいなあと思います。
- ・産まれただけじゃ人じゃない。というのが一番印象的でした。
- ・性の危ない事や覚えておくべき事を学びました。これから自分にも関係ある事なので、今日の話をお忘れしないで相手の事をしっかり考えていこうと思いました。
- ・一番印象に残った事は、親による子どもへの暴力増加で



す。ニュースなどでも目にしますが、指導と暴力は全く別のものだし、子どもに当たるのは考えられないと思いました。今日の講話を聞き、自分のパートナーとの付き合い方をもう一度二人で考え合おうと思いました。

- ・今さえよければ良いという考え方をやめて、先の事を考えながら行動していきたいと思った。

医療福祉連携室

小児病棟  
クリスマス会

12月25日(火)2階小児病棟におきまして、保育士と2階病棟看護師で毎年恒例のクリスマス会を行いました。去年よりも入院患児様が少なかったため、各病室を個別訪問し、とても和やかな会となりました。クリスマス会では、クリスマスの歌、ハンドベル、サンタ・トナカイからのプレゼント渡し、記念撮影をしました。患児たちは、並河先生サンタ、河崎先生トナカイが登場すると、嬉しそうに笑顔で握手をしていました。

その後、並河先生サンタ、河崎先生トナカイ、スタッフ一同は婦人科病棟を訪問し、ハンドベルの演奏を行い、子どもから大人まで喜んでいただくことができました。

今後も入院患児様に笑顔を提供できるよう努めて参ります。

保育士 吉田 晴美



## 緩和ケア病棟クリスマス会

12月25日緩和ケア病棟でも毎年恒例のクリスマス会が行われました。クリスマスケーキと綺麗に飾られた果物盛り合わせを囲んで、楽しく開催されました。当院の木下薬剤師率いるコーラス隊にクリスマスソングを歌っていただき、とても和やかなムードとなりました。緩和ケア病棟看護師も一丸となってボディパーカッションを披露しました。いつもは優しい看護師さんたちもこの時には、リズムに合わせて力強く、かっこ良かったです。患者さんたちもいつもと雰囲気の違い看護師さんたちに目が釘付けとなっていました。また、クリスマスと言えばサンタクロースですが、緩和ケア病棟でもサンタクロースに扮したスタッフがプレゼントを配りました。プレゼントはビンゴゲームで上がった人から順番にもらっていくので、楽しみながらプレゼントを受け取っていただきました。サンタクロースの登場にもみんなの笑顔がたくさんありましたが、プレゼントを受け取り一層明るい表情となりました。

寒い寒い冬ですが、この日は温かな時間を過ごすことができました。患者さんたちもそんな時間を過ごせていたら幸いです。



緩和ケア病棟看護師 大瀬 慶子

## 決算概況 (平成24年11月現在)

平成24年度11月現在の事業収益としては、34億4,287万円(前年度比1,735万円増)となりました。内訳としては、入院収益が24億8,958万円(前年度比551万円の減額)となっています。入院患者延数が前年度より3,108人減少しておりますが、手術件数の増加に伴う増収で前年度並みの収益が確保できました。外来診療収益は7億402万円、保健予防活動収益は1億9,958万円でした。

事業費としては、32億7,586万円(前年度比1億1,597万円の増額)となりました。主に、労務費が18億7,918万円(前年度比9,840万円増)、材料費が6億9,811万円(前年度比1,580万円増)でした。

営業利益としては1億6,700万円の黒字を計上していますが、事業費の増額に伴い、前年度比9,862万円の減額となりました。また、当期純利益としては、事業外収益の増額により2億3,859万円の黒字を計上しております。

## 《患者数》

	24年度	23年度	増減
入院患者延数	42,843人	45,951人	▲3,108人
1日平均患者数	175人	188人	▲13人
外来患者延数	45,059人	46,015人	▲956人
1日平均患者数	268人	280人	▲12人

経理課長 黒木 正明

次回は平成二十五年一月十日(木) 十四時から予防医療センター二階の図書コーナーで開催致します。ご自由にご参加下さい。投稿のみの参加もできます。院内設置の投稿箱にご投稿下さい

- 今一度好みの菊の前に立ち 章子
- 小春日の洗濯物もいねむりす 章子
- 故郷の夕日の色の柿届く 章子
- 鍋の中秋の美りがはしゃいでる 章子
- おばちゃまは磁石のように友ができて 章子
- 運動会玉入れ高く届かない レイ
- 向かい風いつもの半分進めない レイ
- 友が逝く世話になったが返せずに レイ
- おせちなど色とりどりの見本来る レイ
- 青空に深呼吸して退院日 失名氏
- 寒空に皇帝ひまわりいきいきと 保義
- 戦争は地球上から無くなれよ 保義
- 酒ありて明日への希望生きがいと 保義
- 熱い鍋具はたつぶりの十品で 佐津子
- 久びさにお日様にここに有がたや 佐津子
- 逃すまい小春日和の布団干し 佐津子
- 仏様硬いですけど粟おこし 佐津子

川柳句会「翔」平成二十四年十二月分

平成二十四年十二月開催分の句をご紹介します。どうぞご鑑賞下さい。

笑って健康促進！  
第83回 翔句会開催！

## 総親会忘年会

12月15日(土)平成24年人吉総合病院総親会忘年会が院内研究発表会後、会場をあゆの里に移し、18:00より開催されました。院長挨拶、来賓紹介が行われ、上村邦紀名誉院長の乾杯の音頭で忘年会が始まりました。

当院では、新人が出し物をするのが恒例となっており、私は5階東病棟・ICUの混合グループで参加しました。

練習時間も限られており、思うように練習が進まないまま当日を迎え、不安でいっぱいでした。しかし、いざ出し物が始まると、自分自身楽しむことができました。これも、準備や指導して頂いた先輩方のおかげだと思います。本当によい先輩方に出会えてよかったです。その他のグループも踊りや劇など、様々な出し物をされ、とても楽しく良い思い出になりました。

5階東病棟 看護師 濱岡 渚



上村邦紀 名誉院長



## 11月の勉強会報告

11月21日(水)第3回心血管疾患医療連携カンファレンス

1「心疾患地域連携クリティカルパス運用状況」

健康保険人吉総合病院

医療福祉連携室 金栗 由佳 社会福祉士

2「タバコ～全ての医療者が連携して取り組むべき課題～」

健康保険人吉総合病院

循環器科 名幸 久仁先生

3「症例検討:糖尿病・CKDを合併した心筋梗塞症例」

岡医院 院長 岡 啓嗣郎先生

健康保険人吉総合病院

循環器科部長 岡 秀樹先生

## 人吉総合病院は 職員を募集しています。

職 種	①助産師 ②看護師 ③臨床工学技士
対象となる方	☆既卒・新卒にかぎらず、ご応募ください。 ☆経験者はもちろんブランクがある方も歓迎します。 ☆子育て中の方も、安心して働けます。 (病児保育院内設備あり)
資 格	有資格者 (今年度末資格取得見込み者含む)
給 与	当病院規程により優遇 (経験・スキルを考慮いたします。)
提出書類	履歴書・推薦書・成績証明書・卒業見込み証明書
提出先	〒868-8555 健康保険人吉総合病院あて
連絡先	電話 0966-22-2191 庶務課 担当: 西山・黒木

